

# サンガーデン便り

令和2年6月号

## 館内の見どころ

ブーゲンビリアの赤い花、シコンノボタンの青い花、タイサンボクの白い大きな花を觀賞できます。館外のカルチャーパークでは、6月中旬にハクウンボク、下旬にはヤマボウシの白い花を見ることができます。



## 園芸講座・展示会について

新型コロナウイルス感染防止のため講座や展示会は中止しております。

## 6月の園芸作業

鉢花や観葉植物に水を与えるときは、コンテナの土の表面が乾いてから、鉢底に水が届くまでたっぷり与えます。毎日少量灌水するのはよくありません。鉢土が十分乾いてから十分に水を与える、メリハリのある水やりが肝要です。

**☆草花・球根類** 自家育苗した花壇苗は、定植1週間前から夜間も外気に当て、寒さに慣らしてから植えましょう。また、植えた後に毎日水やりすると加湿となり活着が遅れます。朝に葉が萎れている場合に限り灌水するようにしましょう。植え付け後3~4年経過し株が混んできたスイセンやクロッカス・ムスカリは、葉が枯れてから掘上げて、陰干し保管し9~10月に植え付けても、株分け後すぐに植え込んでも良いでしょう。

**☆家庭菜園** ジャガイモの培土は、芽が出始めてから10日後に5~6cmの厚さに、さらに10日後(草丈25cm位の頃)に5~6cmの厚さに土を寄せます。トマトなど果菜類の定植は中旬までにすませ、ビニールマルチやトンネル、不織布で保温し、生育を促進します。定植後に毎日野菜に水をかける菜園が多いようですが、加湿に育てると根の発育不良や病気の原因になります。水は定植時の1回で済ませましょう。朝萎れていなければ水は不要です。過保護にせず丈夫に育て

苫小牧市サンガーデン

〒053-0011

苫小牧市末広町3丁目1番15号

☎0144-33-4411

ましょう。

**☆観葉植物・鉢花** 観葉植物は植え替えや鉢増しの適期です。草ものは毎年、木ものは1年おきを目安に行います。戸外に出す場合は、最初は風の無い曇りの日に戸外に出し、その後徐々に戸外の時間を増やし、外気に慣らしていきましょう。

**☆洋ラン** シンビジウムは昼夜とも戸外に出します。水が大好きなので、雨に当て、かん水は十分に与えます。肥料は置き肥と液肥を併用します。カトレア・コショウラン類は、室内で高温多湿気味に管理します。肥料は置き肥を月1回と液肥を週1回を目安で施します。

**☆庭木** ツツジなどの花木類は、花が終わったら早めに花がらを摘み、整枝、剪定をします。

**☆芝生** 芝草は、刈り込みが刺激となって上に伸びるのではなく横に広がり、密な芝生になります。刈り込みは、長めの2.5~3cmの刈高で7~10日おきに定期的に行いましょう。刈と込みが遅れていっきに短く刈り込むと、葉身だけになり芝草が弱ってしまいます。雑草抜き、施肥、目土入れ、エアレーション(穴開け)も今月に行います。



## 苫小牧の気象経過と予報

6月の太平洋は、暖かい空気に覆われやすく、月のはじめはかなり高くなる見込みです。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの予報です。

